

県職交渉（8月交渉）概要

- 1 日 時 令和元年8月9日（金）
- 2 場 所 北館 201 会議室
- 3 出席者 【当局】行政経営部長，人事課長外
【組合】委員長，副委員長，書記長外
- 4 議 題 執行体制・大卒最終合格，人事院勧告，会計年度任用職員

項 目	組 合 主 張	当 局 回 答
執行体制 ・ 大卒最終 合格	<p>○現時点の欠員や休職等の状況はどうか。</p> <p>○公共部門の執行体制について，局から話を聞いているのか。</p> <p>○大卒程度試験で公募割れする可能性もある職種もあるが，どう対応するのか。</p>	<p>○8/1 時点で欠員4名，休職 13 名，長期の病休 19 名，産休8名，育休 60 名だ。</p> <p>○今年度募集した総合土木の任期付職員は公募数を下回っている状況であり，今年度の体制が整備できていないことは認識している。</p> <p>○公募割れを起こさない努力をするとともに，公募割れもあり得ることを想定して，対応したい。</p>
人事院 勧告	<p>○人事院勧告の受け止めはどうか。</p>	<p>○国ではプラスの較差が出ている。また，住居手当の見直しについては，導入すれば引下げとなる職員もいるので，本県の状況を確認したい。</p>
会計年度 任用職員	<p>○会計年度任用職員について，今後議論する項目等についてどう考えているのか。</p>	<p>○研修や説明会については，現場を空けることがないよう，日程を弾力的に設定したいと考えている。</p>